

史跡 城山横穴群



国史跡  
城山横穴群  
の歩み

- ▼ 急傾斜地崩壊対策事業の事前調査として丘陵上の遺跡分布状況の把握
- ▼ 城山横穴群の詳細な内容把握
- ▼ 丘陵全体と各墳丘の形状把握
- ▼ 遺跡の部分的な発掘調査と簡易調査
- ▼ 横穴墓の構造・時期の変遷を把握
- ▼ 横穴墓分布空白域の横穴墓の有無確認
- ▼ 中世城郭の基礎的情報の把握

- ▼ 城山横穴群についての構造把握
- ▼ 遺跡の部分的な発掘調査と簡易調査
- ▼ 横穴墓の構造・時期の変遷を把握
- ▼ 調査概要報告書「城山遺跡群福智町文化財調査報告書第2集の刊行」
- ▼ 開発に伴う事前調査から保存目的の調査へ方針を転換

- ▼ 国史跡に向け範囲内容確認調査を開始
- ▼ 城山横穴群についての構造把握
- ▼ 遺跡の部分的な発掘調査と簡易調査
- ▼ 横穴墓の構造・時期の変遷を把握
- ▼ 城山横穴群についての構造把握
- ▼ 遺跡の部分的な発掘調査と簡易調査
- ▼ 横穴墓の構造・時期の変遷を把握

- ▼ 発掘調査報告書「城山横穴群文化財調査報告書第3集」作成
- ▼ 文化庁へ史跡指定の意見具申

- ▼ 平成26年10月6日指定告示、平成27年3月11日福智町管理団体に指定
- ▼ 公有地化の開始(2件完了)
- ▼ 文化庁への追加史跡指定の意見具申

- ▼ 公有地化(3件完了)
- ▼ 範囲・内容確認調査の開始
- ▼ 文化庁への追加史跡指定の意見具申
- ▼ 保存活用計画審議

- ▼ 公有地化(1件完了)
- ▼ 範囲・内容確認調査
- ▼ 整備基本計画策定
- ▼ 範囲・内容確認調査
- ▼ 整備基本設計作成
- ▼ 次年度保存整備工事部分の実施設計

- ▼ 範囲・内容確認調査
- ▼ 保存整備工事
- ▼ 次年度保存整備工事部分の実施設計
- ▼ 範囲内用確認調査の終了
- ▼ 発掘調査報告書「史跡城山横穴群文化財調査報告書第5集」の作成
- ▼ 財調査報告書第5集の作成
- ▼ 保存整備工事完了
- ▼ 整備報告書(史跡城山横穴群保存整備報告書)の作成

- ▼ 史跡「城山横穴群」の企画展を実施
- ▼ 史跡「城山横穴群」のオンラインスケジュールを開催
- ▼ 史跡「城山横穴群」4月18日から公開



郷土の歴史物語る出土品を展示 **入場無料**  
「古代のタイムカプセル横穴墓の世界」

**発**掘・調査から解明されてきた歴史などを伝え、城山横穴群の出土品約百点と司書が厳選した関連本を展示する企画展を図書館・歴史資料館「ふくちのち」で開催しています。4月28日に展示品の入れ替えを行い、さらに注目度の高い品々を展示していますので、ぜひお越しください。



注目の出土品を紹介

- ▲ 須恵器の中のハマグリ  
墳丘での祭祀行為をうかがわせる須恵器大甕や短頸壺などの遺物が城山横穴群から多く出土しました。その中でも坏の中に納められたままの状態出土したハマグリは墳丘で食物をお供えた儀礼を物語る貴重な出土品として注目されています。
- ▶ 水晶製「切子玉」  
城山横穴群で出土した人骨の頭蓋骨内部から発見した「水晶製切子玉」。土砂の流入などの理由で流れ込んだと考えられます。切子玉は福岡県で発見された装飾具の玉の中でも発見点数が0.1%と珍しい玉であると言えます。
- ▶ 須恵器四耳短頸甕  
「須恵器四耳短頸甕」と似たような形をした甕や壺が、田川市や福岡市、飯塚市などでも出土しており、当時から地域間での交流があったことを示す重要な出土品です。展示会場では、あらゆる方向から細かい部分まで見学しやすいように展示しています。
- ▼ 鉄製の武器  
企画展では全長約81cmの大刀と全長約60cmの鉄刀を展示しています。大刀とは直刀でおおむね80cm以上の鉄製の刀を指します。他に鉄鏃(鉄製の矢じり)なども展示しています。当時の身分の違いなどが考えられる出土品です。ぜひご覧ください。

会場／町立図書館・歴史資料館 ふくちのち  
開館／10時～17時30分 毎週火曜日・毎月1日 休館  
展示期間  
5月31日(日)まで

その規模と密集度

# 横穴群



↓オープニングセレモニーで関係者6人がテープカット

**横**穴墓が濃密に分布するところで知られる遠賀川流域の遺跡の中でも、地域的特性を顕著に示し、規模や密集度も全国屈指の史跡「城山横穴群」。

を代表する史跡として、確かな一歩を踏み出しました。今後、地域の誇りとなる史跡となることを目指し、調査研究と公開・活用を進めていきます。

## 全国屈指

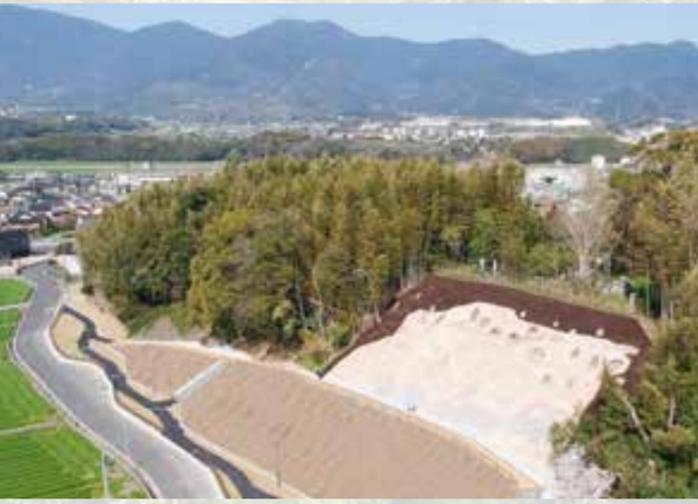
# 城山

国史跡

地域の歴史を紐解く国史跡「城山横穴群」の13年に及ぶ調査・研究・整備が完了し、先月ついに一般公開の日を迎えました。園埋蔵文化センター ☎28-9111

先人の営みを物語る遺跡  
国史跡「城山横穴群」とは

**城**山横穴群は、一級河川「遠賀川」の支流「中元寺川」右岸の西金田の丘陵上に位置しており、6世紀前半から7世紀後半の古墳時代に作られたお墓が集合しています。平成20年から福智町で調査・研究が実施され、222の横穴墓と12の墳丘を確認。その規模と密集度、貴重な出土品が高く評価され、平成26年10月に田川市郡では初、筑豊地区では半世紀ぶりとなる文部科学大臣指定の「国史跡」となりました。また「城山横穴群」は古墳時代だけでなく、その後の時代でも要所として存在していたことが出土品から明らかになっています。



希少な保存状態のよい人骨も出土

国指定された後の保存整備した範囲には、31基の横穴群が確認されました。斜面上段は比較的残りがよく、下段は崩落が進んでいます。土砂でふさがり気密性が高かったことなどから、横穴墓の1基から原形に残る希少な人骨3体が出土しています。そのお墓の内部はweb上で3D画像をご覧いただけます。

